

講座 22	もうひとつのヨーロッパ…改めて北欧・東欧・ロシアの音楽の神髄を探る				
	【定員】150名 【受講料】 2年会員13,380円 1年会員 15,060円 聴講生 20,080円				
	『音楽・芸能』音楽Ⅱ 【時間】 毎回13時30分～15時00分、 補講日（4/24のみ）10時00分～11時30分（計12回）				
概要	北欧、東欧、ロシア。それぞれに言語を持ち、異なる社会体制の中で発展してきた。音楽においても、ヨーロッパの周辺でありながら、周辺から中心へ逆照射する発想の発展がなされてきた。自国の文化を大切に育み本質志向の音楽を生んだ文化を指揮者、音楽学者、歌手が探る。				
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	4/3(木)	新百合21 ビルB2 多目的 ホール	休 講	指揮者 新田 ユリ	
2	4/10(木)		北欧五か国を知ろう！－国旗デザインを同じくする五人兄弟の素顔		
3	4/17(木)		スカンジナビア圏の音楽と文化・社会－ゲルマン系ノルディック言語の国々		
1の補講	4/24(木) 10:00-11:30		フィンランドの音楽と文化・社会－王制を敷かなかった森の民の音楽文化		
4	5/22(木)		北欧の音楽文化が未来へ語る－日本とのつながり		
5	5/29(木)		ポーランド音楽史概説（古典～現代）	早稲田大学講師 松尾 梨沙	
6	6/5(木)		ショパンとポーランド文学（1）歌曲		
7	6/12(木)		ショパンとポーランド文学（2）バラード		
8	6/26(木)		フランスのショパンと亡命ポーランド人たち		
9	7/10(木)		ロシア民謡とソヴィエト歌謡、ロマ歌謡	二期会・声楽家 岸本力	
10	7/17(木)		ムソルグスキーの初期と晩年の歌曲の魅力		
11	7/24(木)		チャイコフスキーの哀愁と社会批判		
12	7/31(木)		ロシア革命の中のラフマニノフ		